



大村貞子議員（地域開発みちの会）

－「一時預かり保育」「ファミリーサポート」について－

問 現在「一時預かり保育」は民間保育園3園と町内NPO法人で実施されていますが、公的施設で実施についての考えは。環境が整っている子育て支援センターや庁舎建設に伴う、中央公民館本館の空きスペースなどの施設の一部を利用して開設してみてもは。

答 一時預かり事業は、当初英比保育園の多目的室で実施する予定でしたが、児童数の急増で、この部屋を今後保育室として利用することも考えられることから、実施に至らなかったものです。子育て支援センターや新庁舎建設に伴う、中央公民館本館の空きスペースでは、児童福祉法に規定する一時預かり事業を行うための設備や職員基準を満たさないため、開設することはできません。町としては、児童数増加に伴いこの事業に対する皆様のニーズが高まっていることを考慮し、一時預かり事業について、平成26年度から町立保育所で実施することを検討していきたいと考えています。

問 「ファミリーサポート」について、町として現在の考えは。今後、町民ニーズの把握・検討は。

答 ファミリー・サポートセンター事業の実施は、次世代育成支援行動計画で「今後のニーズ次第で方向性を決める」とされています。近隣市町の運営状況を見ると、立ち上げ当初は気運が上がったものの、時が経つにつれ援助提供会員の減少など問題が起きており、実施には慎重な判断が必要です。町では今年度、子ども・子育て会議を設置して「子ども・子育て支援事業計画」の策定に着手します。計画策定には、皆様の意識調査を予定しており、ファミリー・サポートセンターについても項目を盛り込み、町民ニーズの把握に努めてまいります。

住みよい、住み続けたい町づくり宣言

わたしたちは、それぞれの活動を通して、阿久比の美しい自然を守り、温かな人とのふれあいを大切にする町でありたいと願っています。

ここに、次世代を担う子どもたちを育む、住みよい、住み続けたい町づくりのために、今後も女性の視点を生かした活動を続けていくことを誓い、次のことを宣言します。

- 一、やすらぎある住環境を大切に、身近な自然との共生に努めます。
- 一、誰もが安全で、安心して暮らせる、やさしいまちづくりを応援します。
- 一、子どもたちの健やかな成長を願い、あたたかい家庭と地域全体で見守ります。
- 一、食の大切さを伝え、元気な体と阿久比の心を育みます。
- 一、男女共同参画社会に向け、協働のまちづくりに参加し、煌く未来へつなぎます。



阿久比町制60周年記念

平成25年6月27日

町制60周年記念 阿久比町きらきら女性議会

議会を終えて・・・

各団体の日頃の活動の中から生まれた疑問を質問にかえ、それに対して町から誠意ある答弁をいただきました。女性目線の質問が、これからの町政へ生かされていくと確信しました。

女性の力はこれからが始まりであるよう、がんばっていかれたらと思います。

あぐい女性の会の存在や活動等々を知っていただく、良い機会だったと思います。



素晴らしい充実感・達成感を感じました。今後は各団体への活動につなげることが大切だと思っています。

新庁舎建設でこの議場も取り壊されるかと思うと、改めて感慨深いものがありました。

日々の活動を通して思っている疑問を投げかける女性議員、真摯に答える行政側と立場は違っても、共に目指すところは“住みよい、住み続けたい町 阿久比”であることを確信しました。

近い将来、女性の中からひとりでも多く議員席に座る人がでて来ることを望み、いつか“町議会に女性が存在することの物珍しさ”から脱却できる日が来ることで、はじめて“きらきら女性議会”を行なった意義があるのだと思います。

問い合わせ先
政策協働課 ☎(48)1111 (内303)